

第2章 「サザエさん通り」の現況と課題

1. ソフト面の現況と課題

現況

「サザエさん通り」とその周辺には古くからの街なみと新しい街なみ、活気のある商店街、小学校から大学までの教育施設、博物館・総合図書館などの文化施設、企業などが集まっており、様々な人々が生活しています。これまで商店街や校区等地域主導の取り組み、企業の取り組み、行政の取り組みなど、数多くの活動が行われてきました。



課題

これまでの取り組み状況を踏まえ、今後、「サザエさん通り」を生かしたまちづくりを進めていくために、以下の4つの課題が考えられます。

1) 「サザエさん通り」の認知度向上

「サザエさん通り」が誕生して間もないため、通りの認知度が低いのが現状です。

2) 取り組みの継続と成果の活用

これまでの取り組みを継続し、結果を踏まえ、次に生かしていく事が発展につながります。

3) 個々の活動の連携の充実

これまでの取り組みは、単独で実施されたものが多く、地域や団体、行政等の連携が望まれます。

4) 情報の共有と発信力強化

関連事業の情報について一元化して、広い範囲を対象とした情報発信が望まれます。

2. ハード面の現況と課題

現況

2013年（平成25年）12月現在、「サザエさん通り」各所に共架タイプ通り名プレート（20か所）、単独柱タイプ通り名プレート（5か所）、磯野広場に「サザエさん発案の地記念碑」が設置されています。また、都市サイン（歩行者用）に「サザエさん通り」が記載されています。



課題

「サザエさん通り」のハード面の現状を踏まえ、以下の4つの課題が考えられます。「サザエさん通り」の魅力を高め、地域の方々とともに初めて訪れた人でも使いやすく愛着のわく通りづくりが望まれます。

1) 通りの地理情報の周知

通りの起点・終点・曲がり角等、地理情報が十分に周知されていません。

2) 通りのシンボル性向上

起点・終点・曲がり角等を活用してシンボル性を向上させる必要があります。

3) 通りの雰囲気の一貫化・魅力づくり

性格の異なる3つの通り（上記①②③）を、「サザエさん通り」としてつながり感をもたせる必要があります。

4) 周辺地域への広がり

「サザエさん通り」を軸として、周辺の商店街や史跡などへの広がりを持たせる事が必要と考えられます。